

## Ⅱ-7 相談票を使う準備

設定の変更をサブパソコンで使用している相談票に反映させる



**重要** 使用前に必ずお読みください

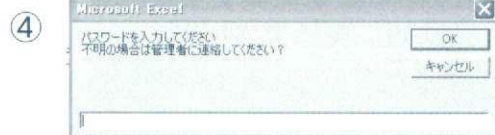
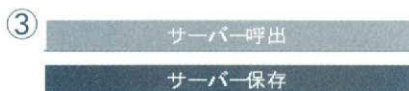
**メインパソコンで設定変更した場合は、相談票を使用する前に各サブパソコンごとに、必ず設定変更する必要があります！！**

メインパソコンでの設定変更の結果はサーバーに保存されています。

サーバーから保存されたデータを読み出してサブパソコンの相談票プログラムに反映させます。

—方法は簡単です—

- ① 相談票:「設定変更」をクリック。
- ② 「データ追加変更」をクリック。
- ③ 「サーバー呼出」をクリックします。
- ④ 管理者のみが使用できる「パスワード」を入力し、サーバーに保存した設定の変更を読み出します。



### Ⅲ-1 相談票を入力

新規相談の場合：パソコンから相談票を立ち上げて、日時、相談時間を入力する

- ① デスクトップ上の「相談票」のアイコンをクリック。
- ② 「マクロを有効にする」をクリック。
- ③ 初めての相談者の場合は、「新規作成」をクリック。 新規相談
- ④ 相談日(現在)が自動的に入力されます。  
自動入力された日付を変更する場合は、日付を削除してから200 ○ / ○ / ○と入力してください。
- ⑤ 「開始」 開始 をクリックして時間(現在)を自動入力します。  
自動入力された時間を変更する場合は、時間を削除してから「○:○」と入力してください。
- ⑥ 「終了」 終了 をクリックして時間(現在)を自動入力します。  
同時に、「相談時間」が自動的に計算されます。  
自動入力された時間を変更する場合は、時間を削除してから「○:○」と入力してください。



**重要** 使用前に必ずお読みください

自動入力された時間を変更した場合は、**もう一度「終了」** 終了 をクリックすると、相談時間が自動的に再計算されます。

区分2	区分3	対応	連携先関係機関
A			
B			
C			

難病相談・支援センター 相談記録票

## Ⅲ-2 相談票を入力

対象者の情報を入力する



**重要** 使用前に必ずお読みください

相談方法、相談者と相談対象者との関係、疾患情報、相談区分は、統計に使用しているので必ず入力してください。

- ① 対象者名を入力します。  
相談対象者が人でない場合(「団体」「患者会」等)は、性別は「その他」を選択してください。
- ② 「疾患情報」をクリックすると、「疾患についての情報を入力してください(必須)」の画面が出ます。
- ③ 例)「難治性疾患克服研究事業対象疾患(特定疾患)」の場合、該当する疾患名の頭文字を50音でさがし、クリックします。  
右側に記載されている注意事項を参照のこと。
- ④ 例)パーキンソン病の場合、ハの欄の「パーキンソン病」のセルをクリックします。
- ⑤ 難病に関する相談で、疾患名が特定されていない相談や、センター事業に関連した相談などは、「**難病全般**」を選択します。

③ 難治性疾患克服研究事業対象疾患(特定疾患)  
(50音順索引)  
ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行 ハ行 マ行 ヤ行 ラ行

疾患の名称をご確認ください。例)「りょうまち」→「ら行 英略称の索引も可能です。例)「PPH」→「ぴーびーえいち」→「は行」  
都道府県単独事業の対象疾患は登録してください。  
特定疾患が追加されたときには登録してください。  
登録は管理者が行ってください

⑤ 難病全般

難病に関する相談は、「難病全般」を選択してください。

難病外の疾患

特定疾患以外の疾患は、新規入力時に登録が必要です。

(50音順索引)  
ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行 ハ行 マ行 ヤ行 ラ行

疾患名と分類を登録してください。  
分類は、小児慢性特定疾患/特定疾患以外  
登録は管理者が行ってください

診断未確定

病名不明

その他

上記のいずれにも該当しない場合は「その他」を選択してください。

戻る

### Ⅲ-3 相談票に入力

疾患情報を入力する：難病外の疾患、診断未確定、病名不明の場合

- ① 難病(難治性疾患克服研究事業対象疾患)以外の疾患の場合、「難病外の疾患」の該当する疾患名の頭文字を50音でさがし、クリックします。  
右側に記載されている注意事項を参照のこと。
- ② 診断未確定の場合は「診断未確定」を、病名不明の場合は「病名不明」をクリックしてください。
- ③ いずれにも該当しない場合は、「その他」を選択してください。

疾患についての情報を入力してください(必須)	
<p>難治性疾患克服研究事業対象疾患(特定疾患)</p> <p>(50音順索引)</p> <p>ア行   カ行   サ行   タ行   ナ行   ハ行   マ行   ヤ行   ラ行</p>	<p>➡ 疾患の名称をご確認ください。例)「りうまち」→「ら行」 英略称の索引も可能です。例)「PPH」→「ぴーひーえいち」→「は行」 都道府県単独事業の対象疾患は登録してください。 特定疾患が追加されたときには登録してください。 登録は管理者が行ってください。</p>
<p>難病全般</p>	<p>➡ 難病に関する相談は、「難病全般」を選択してください。</p>
<p>① 難病外の疾患</p> <p>(50音順索引)</p> <p>ア行   カ行   サ行   タ行   ナ行   ハ行   マ行   ヤ行   ラ行</p>	<p>➡ 特定疾患以外の疾患は、新規入力時に登録が必要です。 疾患名と分類を登録してください。 分類は、小児慢性特定疾患／特定疾患以外 登録は管理者が行ってください。</p>
<p>② 診断未確定</p> <p>病名不明</p>	
<p>③ その他</p>	<p>➡ 上記のいずれにも該当しない場合は「その他」を選択してください。</p>
<p>戻る</p>	



### Ⅲ-4 相談票に入力

相談内容、対応、連携先関係機関を入力する

- ① 受けた相談が、どのような内容だったかを整理するために、あらかじめ決められた区分で分類します。
- ② 相談票下部の「区分」のA、B、Cをクリックすると「相談区分」の画面が出ます。(次項参照)
- ③ 一番右の欄に、相談例があるので参考にしてください。
- ④ 統計に必要なデータは「中項目」までですが、相談内容についてより詳しく統計を出したい場合は「小項目」までを選択してください。
- ⑤ 「相談区分」の表は、「上へ」「下へ」で移動することができます。
- ⑥ いずれかを選択(クリック)すると相談票に戻りますが、選択せずに相談票に戻る場合は、「戻る」をクリックします。
- ⑦ 「対応」を入力します。この結果は、自動的に行う統計処理には使用しません。
- ⑧ 「対応」のプルダウンメニュー(選択肢)については、各センターの実情に合わせて **設定変更** をクリックして データの追加変更 「データの追加変更」をしてください。
- ⑨ 「連携先関係機関」を入力します。この結果は、自動的に行う統計処理には使用しません。
- ⑩ 「連携先関係機関」のプルダウンメニュー(選択肢)についても⑧と同様です。

②	区分2	区分3	対応	連携先関係機関
A	疾病自己管理	症状管理	助言・自己決定支援	保健所
B				
C				

⑥	戻る	⑤	上へ	下へ
大	④ 中項目 かならず選択	小項目	例	
		できれば選択。結果はデータ一覧で表示されます。	左の区分の内容を説明した例です。左の項目を選択してください。	
	病気の理解	病気に関すること 病気に関する不安・混乱 遺伝問題に関すること 妊娠、出産に関すること 合併症、その他の病気 その他	病気の情報 病気の受容、告知 遺伝子診断、子どもへの遺伝 病気を抱えながら出産は可能か どのような合併症があるか	③
	治療法の選択の意思決定	薬物療法 手術療法 気管切開 人工換気療法 胃ろう 人工肛門 治療法の適切性・安全性・有益性に関すること 移植、新薬、治験、最新の医療等 その他	ステロイド治療を受けるべきか 手術を受けるべきか 気管切開をするべきか 人工呼吸器をつけるべきか 胃瘻を造設すべきか 人工肛門を造設すべきか この治療でよいか/もっと効果的な治療法があるのではないか 最新の治療法情報/治験を受けるにはどうしたらよいか	

# 相談区分 (1)

大	中項目	小項目	例
	かならず選択	できれば選択。結果はデータ一覧で表示されます。	左の区分の内容を説明した例です。左の項目を選択してください。
受療	病気の理解	病気に関すること	病気の情報
		病気に関する不安・混乱	病気の受容、告知
		遺伝問題に関すること	遺伝子診断、子どもへの遺伝
		妊娠、出産に関すること	病気を抱えながら出産は可能か
		合併症、その他の病気	どのような合併症があるか
		その他	
	治療法の選択の意思決定	薬物療法	ステロイド治療を受けるべきか
		手術療法	手術を受けるべきか
		気管切開	気管切開をするべきか
		人工換気療法	人工呼吸器をつけるべきか
		胃ろう	胃瘻を造設すべきか
		人工肛門	人工肛門を造設すべきか
治療計画への参加	治療方法の適切性・安全性・有益性に関すること	この治療でよいか／もっと効果的な治療法があるのではないかな	
	移植、新薬、治験、最新の医療等	最新の治療法情報／治験を受けるにはどうしたらよいか	
	その他		
	診察結果や治療法に関すること	自分の病状や受けている治療についてわからない	
	治療に関する意思表示	医師に治療に関する希望をどう伝えたいか	
	医療職との関係の形成に関すること	医師に病気のことを聞くことができない	
医療機関・医師の選択	リハビリテーション受けること	リハビリテーションどこで、どのように受けたいか	
	その他		
	医療機関の選択に関すること	この症状はどこで診てもらえばよいのか	
	セカンドオピニオンに関すること	病名に納得がいかない／他の医師の診察も受けたい	
	担当医に関する不信を理由とする医療機関変更に関すること	医師が話を聞いてくれないので他の医師の診察を受けたい	
	治療計画不信を理由とする医療機関の変更に関すること	現在の治療に納得がいかないので他の医師の診察を受けたい	
療養環境	保健・医療・福祉サービス	専門医の確保に関すること	この病気の専門医がいる医療機関が知りたい
		医療態勢に関すること(受診方法、他科連携、専門科等)	病院を受診する方法がわからない
		緊急時医療態勢に関すること	突然の病状悪化時に受診可能な医療機関の情報を知りたい
		かかりつけ医に関すること	近医で診てくれるところはないか
		その他	
		難治性疾患克服研究事業に関すること	難治性疾患克服研究事業とは
	療養生活全般	介護保険制度に関すること	介護保険の申請方法／ケアマネージャー
		障害者自立支援法に関すること	身体障害者手帳の取得方法／障害等級
		訪問看護に関すること	訪問看護ステーションの選定／訪問看護の利用
		各種制度に関する不満	難病なのになぜ身体障害者手帳を取得できないのか
		保健・看護・福祉職との関係形成に関すること	窓口の対応が悪い／担当者から傷つくようなことを言われた
		その他	
家族機能	療養生活管理に関すること	服薬／食事／運動／睡眠／休養／仕事	
	緊急時の対処に関すること	症状が急変したときにどうしたらよいか／緊急時の連絡先	
	民間療法に関する情報	民間療法は有効か／民間療法を試したいが	
	在宅療養支援体制に関すること	退院が近づいているかどのような準備が必要か	
	その他		
	介護態勢	介護者が高齢で心配／介護者が不在	
生活	経済	介護方法に関すること	介護方法が分からない
		介護者の健康に関すること	介護者に持病がある／介護者の疲労がたまっている
		介護者の生活に関すること	介護者が仕事をしている／介護者が大学に通学している
		療養者の課題への家族の対応困難	患者は人工呼吸器の装着を希望しているが家族は介護が困難
		家事、育児の困難	倦怠感が強く、家事ができない／出産後症状が悪化した
		家族の生活、健康問題への不安・困難	自分の病気のために家族に負担をかけている
生活	仕事・学業	生活費、医療費に関すること	傷病手当金／公的貸付制度／窓口・申請方法
		特定疾患治療研究事業医療費助成制度に関すること	特定疾患治療研究事業医療費助成制度の申請方法
		年金、生活保護に関すること	障害年金／生活保護／窓口・申請方法
		税制に関すること	難病なので税の免除などはあるか
		生命保険に関すること	生命保険の加入
		その他	
生活	仕事・学業	就労に関すること	病気を隠して就労しても良いか／病気に対する職場の理解
		就学に関すること	病気や症状管理のことを学校に理解してもらう方法
		その他	

## 相談区分 (2)

支 援	療養生活支援態勢	療養者と支援者間の調整 支援者間の連携 支援者会議 支援者間の研修 技術支援 医療態勢の整備(受診方法、他科連携、専門科等) 地域支援態勢の整備 その他	保健所へ相談をすすめる／相談者の依頼を受け保健所へ連絡 他の相談窓口を紹介する 支援者会議に関する事／支援者会議出席 保健所等が開催する研修会に関する事／研修会参加／講師 パソコン操作習得支援／意思伝達手段獲得支援 難病の専門外来がない／転院しにくい 地域での支援者間で連携がとれていない
	支援方法	療養生活支援方針 告知および治療方法選択の意思決定支援 退院準備 療養者・家族との関係形成 支援方法などの技術支援 その他	療養生活支援方針をどのように検討したらよいか 告知や治療方法を選択するときの不安や迷いをどのように支援するか 退院に向けてどのような準備が必要か 療養者の思いと家族の思いに相違があるがどのように支援したらよいか 看護技術／介護技術／カウンセリング技術
事 業	事業	相談事業	相談方法の問い合わせ／相談事業の実績
		研修会	研修会の問い合わせ／参加申込
		医療相談会	医療相談会の問い合わせ／参加申込
		事業全般	センター事業全般の問い合わせ
		難病についての取材	取材についての問い合わせ
		「自由設定 1」	
		「自由設定 2」	
		「自由設定 3」	
		「自由設定 4」	
		「自由設定 5」	
「自由設定 6」			
「自由設定 7」			
「自由設定 8」			
「自由設定 9」			
「自由設定 10」			
セ ン タ ー 事 業	患者交流	患者会活動支援	患者会主催の医療講演会の広報をほしい／交流会に参加してほしい
		患者会設立支援	患者会を設立したい／患者会設立のための助言がほしい
		患者会との連携	医療講演会を共催してほしい／参加協力
		「自由設定 1」	
		「自由設定 2」	
		「自由設定 3」	
		「自由設定 4」	
		「自由設定 5」	
		「自由設定 6」	
		「自由設定 7」	
		「自由設定 8」	
		「自由設定 9」	
		「自由設定 10」	
		「自由設定 11」	
		「自由設定 12」	
「自由設定 13」			
「自由設定 14」			
「自由設定 15」			
セ ン タ ー 事 業	患者交流	患者会の紹介	同じ病気の患者会について教えてほしい
		同病の患者の紹介	同じ病気のひと話がしたい
		ピアサポート	同じ病気の人の相談を受けたい／同じ病気のひとに相談したい
		「自由設定 1」	
		「自由設定 2」	
		「自由設定 3」	
		「自由設定 4」	
		「自由設定 5」	
		「自由設定 6」	
		「自由設定 7」	
「自由設定 8」			
「自由設定 9」			
「自由設定 10」			



### 相談区分 (3)

ボランティア	ボランティア活動	ボランティア活動支援	難病ボランティア活動/難病ボランティア紹介
		「自由設定 1 」	
		「自由設定 2 」	
		「自由設定 3 」	
		「自由設定 4 」	
		「自由設定 5 」	
		「自由設定 6 」	
		「自由設定 7 」	
		「自由設定 8 」	
		「自由設定 9 」	
その他	その他	「自由設定 10 」	
		「自由設定 1 」	
		「自由設定 2 」	
		「自由設定 3 」	
		「自由設定 4 」	
		「自由設定 5 」	
		「自由設定 6 」	
		「自由設定 7 」	
		「自由設定 8 」	
		「自由設定 9 」	
「自由設定 10 」			





## Ⅲ-6 相談票に入力

バックアップの方法、ログインパスワードの変更



**重要** 使用前に必ずお読みください

### 定期的なバックアップを必ず行ってください

相談票を1台のパソコンで使用している場合

- ① 「スタート」→「マイコンピュータ」→「ローカルディスクC」をクリック
- ② 表示されたフォルダーの中にある、「相談票」フォルダーを別の媒体にコピーしてください。

複数のパソコンで使用している場合

- ③ ネットワーク責任者に相談してください。「相談票」フォルダーがどこに保存されているかを確認してください。

相談票を開く際に「パスワード」が必要になります。

ログインパスワードは変更できます。

- ① 「パスワード」は各パソコン毎に変更できます。
- ② 変更は、「設定変更」→「データ追加変更」→「情報の変更」→「ログインパスワード変更」で行ってください。(Ⅱ-3 参照)

## IV-1 相談票の検索機能

継続相談の場合：以前の相談票を検索する

継続相談の場合、以前の相談票を検索し、相談の経過をみることができます。

以前の相談票から、基本的な情報のみを残して、あらたに相談票を作成することができます。その場合、継続相談としてカウントされます。

- ① 「検索」をクリック。
- ② 「検索メニュー」の画面が出ます。  
「日付」「対象者名」「疾患名」「記入者」「相談者」で検索することができます。
- ③ 検索条件を入力し、左側の口をチェックします。「検索開始」をクリック。
- ④ 検索結果の画面が出ます。
- ⑤ 検索の結果、該当者がいなくて相談票に戻る場合は、「該当者なし(もどる)」をクリック。
- ⑥ 再検索する場合は、「再検索」をクリック。
- ⑦ 検索で抽出された相談票のみを確認したい時は、「検索ロック」をクリック。
- ⑧ ロックされているときには、ボタンが赤くなります。 検索 検索ロック
- ⑨ 以前の相談票が特定され、継続相談の時には、「継続相談」をクリックすると、基礎情報はそのまま受け継がれて、日付が本日のものになり、時間が自動入力されて新しい相談票が作成されます。  
その後の入力方法は、新規相談の時と同様です。

The screenshot displays a web application interface for searching consultation tickets. At the top, there are navigation tabs: 新規相談, 継続相談, 検索, 検索ロック, 前ページ, 後ページ, 登録, レポート, 印刷, 終了, 削除, 設定変更. Below these are search filters for date (2009年2月20日), time (15時30分), and other details. A search menu dialog box (②) is open, showing input fields for 日付 (date), 対象者名 (patient name), 疾患名 (disease name), 記入者 (recorder), and 相談者 (consultant). The search results table (④) shows a single entry with a button (⑤) labeled '該当者なし(戻る)' and a '再検索' button (⑥). The table columns include 受付番号, 受付日, 相談者, 対象者名, 記入者, 疾患名, and 疾患名. The first row shows 1, 2008/2/20, 赤城 すそ, 赤城 すそ子, 群馬うま尾, 難病外の疾患, 水虫, and 水虫の受診は、皮膚科でよいですか。 Ver. 2.0

## V-1 相談票を印刷、レポートの作成

センターにおける保存用、連携先機関へのレポートの作成

相談票の入力画面は、「印刷」で印刷できます。

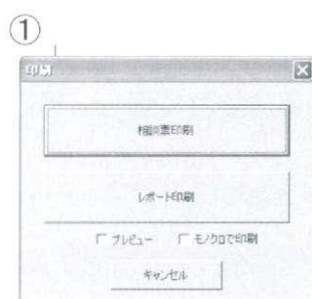
入力されたデータは、「レポート」に反映されます。

「レポート」は、印刷し記録用として、連携先機関への連絡票として使用することができます。

- ① 相談票の上部、「印刷」をクリック。「相談票印刷」または「レポート印刷」が選択できます。
- ② 印刷結果を確認する場合は「プレビュー」を選択してください。画面で、確認できます。
- ③ そのまま印刷するとカラー印刷になりますが、「モノクロで印刷」を選択するとインクが節約できます。
- ④ 相談票の上部「レポート」をクリック。
- ⑤ 相談内容や対応、備考欄の入力情報は変更、加筆が可能です。

連携先の関係支援機関宛に作成する場合、相談票の情報以外に、依頼内容や報告事項などを加えてレポートが作成できます。

\* 用紙の左側のスペースは、綴じ代として多くとってあります。



⑤

受付番号 3				
難病相談・支援センター 相談記録				
受付日	2009年2月20日	方法	面接	
相談者	浅間 山子			
対象者名	浅間 一	性別	男	
年齢				
疾患情報	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)		記入者	群馬うま尾
<b>相談内容</b> 病気の告知を受けてから、本人が落ち込んでいる。上肢の障害が進み、事務仕事ができなくなったため、会社を退職することになった。 経済的な問題について相談したい。 障害年金を受けられるのはいつからか。				
<b>対応</b> 障害年金制度について。 退職後の保証(傷病手当金等)について。 保健所保健師の支援について紹介。保健師の支援を受けることを勧めた。				
備考				



## VI-1 統計処理ソフトを使う

各種統計データを自動的に処理

入力されたデータは、全てExcelファイルにデータとして保存されます。  
各種の統計データが自動的に処理されるように設定されています。

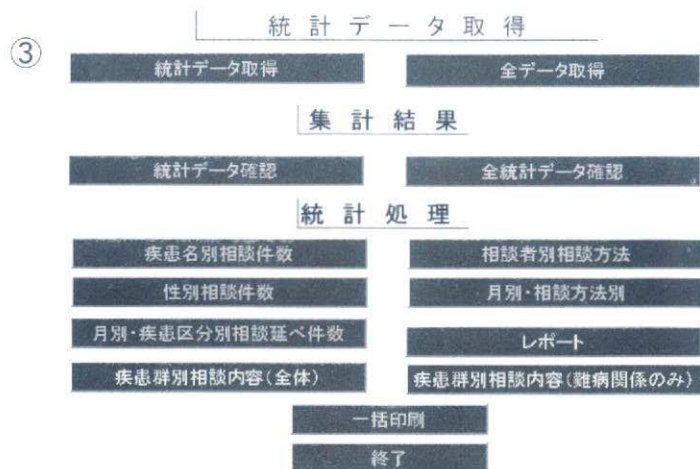
- ① デスクトップ上の「統計処理」のアイコンをクリック。
- ② 「マクロを有効にする」をクリック。(表示されない場合もあります)
- ③ 「統計メニュー画面」が出ます。
- ④ 最初に必ず「統計データ取得」を行ってください。取得したデータを元に各統計処理が、行われます。
- ⑤ それぞれのデータは、「統計データ確認」「全統計データ確認」で確認できます。  
必要なデータは、他のExcelファイルにデータをコピーして使用することが可能です。
- ⑥ 自動的に統計処理できるメニューは  
「疾患名別相談件数」「相談者別相談方法」「性別相談件数」  
「月別・相談方法別」「月別、疾患区分別相談延べ件数」  
「レポート」：厚生労働省に報告する内容に準じたレポートになっています。  
レポート確認画面で利用時間、従事者内容等を手入力してください。  
「疾患群別相談内容(全体)、(難病関係のみ)」：相談内容の比較検討のために。  
「一括印刷」：厚生労働省提出書類を一括して印刷することができます。



**重要** 使用前に必ずお読みください

画面の下にタブが表示される場合がありますが、**タブでページ移動すると集計処理ができなくなります。**

統計処理を行う場合は各ボタンより実行してください。



200834056A

本研究報告書には下記の CD-ROM が添付されています。

「相談票入力支援プログラム」

監修

特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究

研究代表者 今井 尚志

協力

群馬県難病相談・支援センター

製作 (企)S. R. D

